

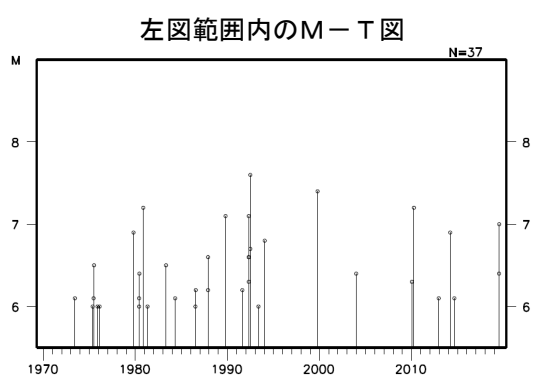
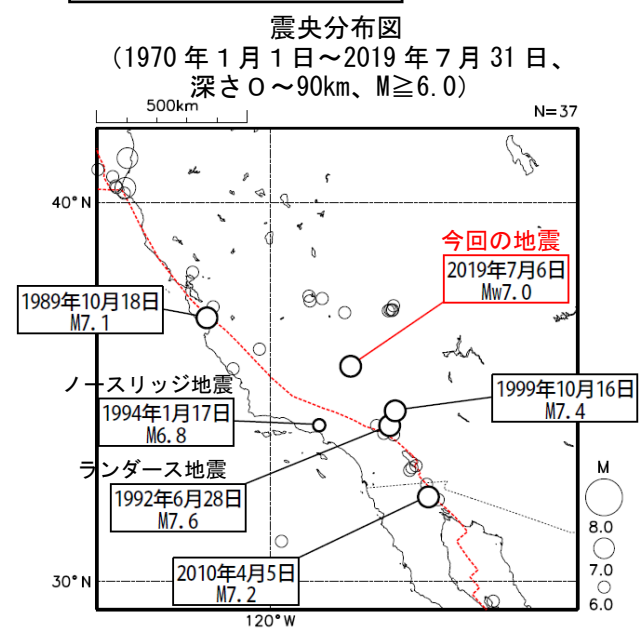
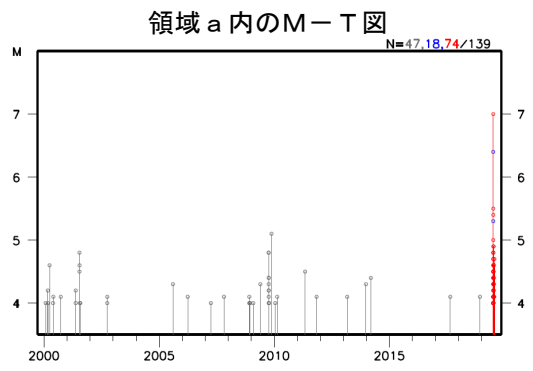
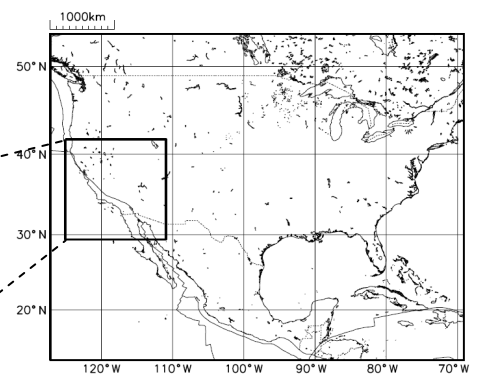
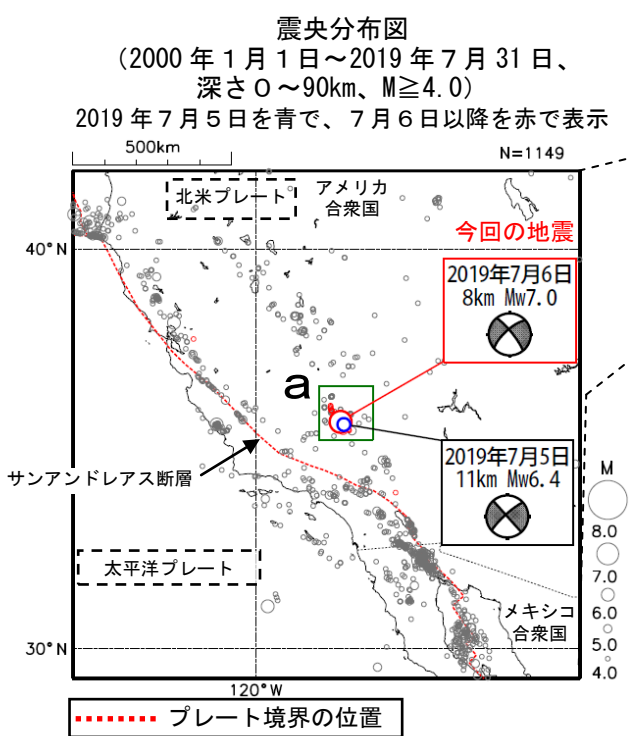
7月6日 カリフォルニア州中部の地震

2019年7月6日12時19分（日本時間、以下同じ）に、北米西部、カリフォルニア州中部の深さ8kmでMw7.0の地震が発生した。この地震は地殻内で発生した。この地震の発震機構（気象庁によるCMT解）は、東西方向に張力軸を持つ横ずれ断層型である。

気象庁は、この地震により、同日12時52分に遠地地震に関する情報（津波の心配なし）を発表した。

なお、今回の地震の震央付近では、今回の地震が発生した前日の7月5日02時33分にMw6.4の地震が発生している。

1970年以降の地震活動を見ると、カリフォルニア州ではM7.0以上の地震が時々発生している。1992年6月28日に発生したM7.6の地震（ランダース地震）では、死者1人、負傷者約400人等の被害が生じた。また、1994年1月17日に発生したM6.8の地震（ノースリッジ地震）では、死者60人、負傷者約9000人等の被害が生じた。



※本資料中、今回の地震の発震機構とMwは気象庁による。その他の地震について、発震機構はGlobal CMT、その他の震源要素は米国地質調査所（USGS）による（7月31日現在）。プレート境界の位置はBird（2003）*より引用。被害は宇津の「世界の被害地震の表」による。

*参考文献

Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, *Geochemistry Geophysics Geosystems*, 4(3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.